



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 名

上場会社名 大成株式会社

コード番号 4649 URL <http://www.taisei-bm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 中島 武久

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 052-251-6611
平成25年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,075	8.9	154	—	196	475.3	114	—
25年3月期第2四半期	8,332	0.7	△5	—	34	△81.4	△16	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 148百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △66百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	22.70	—
25年3月期第2四半期	△3.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,164	7,601	74.8
25年3月期	10,223	7,503	73.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,601百万円 25年3月期 7,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	2.2	250	54.3	320	19.1	160	21.6	31.77

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	5,369,671 株	25年3月期	5,369,671 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	334,033 株	25年3月期	333,960 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	5,035,654 株	25年3月期2Q	5,035,711 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末を底として回復基調に転じており、特に4月以降はアベノミクス効果が实体经济に波及する一方、公共投資の増加、消費税引き上げ前の住宅投資の増加や株高などを背景としたプラス効果により成長を維持しました。

ビルメンテナンス業界におきましては、景気回復を背景として、特に東京地区において新規ビルを中心に空室率の改善がみられました。賃料水準については全国的に新規ビル、既存ビルともに上昇の気配がまだ見られないことから、ビルオーナーの管理コスト意識が依然として強く、収益面では引き続き厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、ビルメンテナンス事業につきましては、前連結会計年度に獲得したいくつかの新規大型物件及びホテルの高稼働が寄与し、売上は増収となりました。

また前連結会計年度より課題であった解約物件における余剰人員整理の対応及び作業効率の改善にともなう原価削減がすすみ、利益についても増益となりました。

リニューアル工事業業につきましては、ビルメンテナンス事業における顧客を中心として、広く営業活動を行った結果、特に東京地区を中心として増収増益となりました。

不動産ソリューション事業につきましては、指定管理事業物件の契約満了及び既存物件における各種イベントの企画が売上につながらず、減収減益となりました。

結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高90億75百万円（前年同四半期比8.9%増）、営業利益1億54百万円（前年同四半期は、5百万円の営業損失）、経常利益1億96百万円（前年同四半期比475.3%増）、特別利益として投資有価証券売却益を13百万円計上したため、四半期純利益は1億14百万円（前年同四半期は、16百万円の四半期純損失）となりました。

ビルメンテナンス事業

（クリーン業務）

クリーン業務につきましては、帝京大学医学部附属病院、ORE錦二丁目ビル、名古屋観光ホテルなどの前連結会計年度に獲得した物件の寄与のほか、名古屋地区及び福岡地区におけるホテルの高稼働などにより、売上高は47億31百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。また解約による余剰人員の整理及び原価改善により、営業利益は6億7百万円（同16.4%増）となりました。

（設備管理業務）

設備管理業務につきましては、NTT駿河台ビル、藤田保健衛生大学病院などの新規物件、あいおいニッセイ同和損保新宿ビル、ORE錦二丁目ビルなどの前連結会計年度に獲得した物件のほか、中野坂上サンブライツツインの業務範囲拡大などにより、売上高は18億90百万円（同3.1%増）となりました。また随時工事獲得などが利益に寄与し、営業利益は70百万円（同106.2%増）となりました。

（セキュリティ業務）

セキュリティ業務につきましては、日本生命丸の内ビル、新川崎三井ビルなどにおける受付業務の新規受注、ORE錦二丁目ビルなどの前連結会計年度に獲得した物件のほか、中野坂上サンブライツツインの業務範囲拡大などにより、売上高は13億71百万円（同1.1%増）となりました。また人員の定着などが原価削減に寄与し、営業利益は1億7百万円（同4.8%増）となりました。

従いまして、ビルメンテナンス部門の売上高は79億93百万円（同6.7%増）となり、営業利益は7億85百万円（同19.2%増）となりました。

リニューアル工事業業

リニューアル工事業業につきましては、好況によりビルオーナーの修繕への投資意欲が上向きであることが追い風となり、顧客ビルを中心とした新規工事の受注が増加し、売上高は8億14百万円（同59.5%増）となり、営業利益は37百万円（同109.6%増）となりました。

不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業につきましては、指定管理事業物件のあま市文化会館及び関連施設が契約満了となり、またすいとびあ江南における各種イベントの企画が売上につながらず、売上高は2億67百万円（同18.5%減）となり、営業利益は12百万円（同16.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産101億64百万円（前連結会計年度末比59百万円減）、負債の部は25億62百万円（同1億57百万円減）となり、純資産の部は、76億1百万円（同98百万円増）となりました。

資産の部の減少要因は、「投資有価証券」及び「土地」の購入により固定資産が増加したものの、「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」及び「有価証券」が減少したことによるものであります。

また負債の部の減少要因は、主には、「短期借入金」及び「未払法人税等」が増加したものの、「支払手形及び買掛金」及び「未払費用」等が減少したことによるものであります。

そして純資産の部の主な増加要因は、「利益剰余金」及び「その他有価証券評価差額金」が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、平成26年3月期通期の業績予想に対する進捗率が、売上高は51.0%、営業利益は61.7%、経常利益は61.4%、四半期純利益は71.4%となっており、いずれも堅調に推移しています。（平成25年10月23日に第2四半期の業績予想を修正しております）

しかしながら、当第2四半期の増収増益の要因であったリニューアル工事の受注増及びホテルの高稼働の継続は不透明である事、また最低賃金の改定による労務費増加の影響及び下期に予定されている新規物件の立上げ費用等、一部コスト増の要因を内包しているため、平成26年3月期通期の業績予想につきましては、平成25年5月14日公表の業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,688,426	1,534,574
受取手形及び売掛金	1,778,623	1,715,248
有価証券	202,114	—
商品及び製品	4,245	4,136
原材料及び貯蔵品	54,435	57,525
繰延税金資産	112,265	103,660
その他	53,799	23,478
貸倒引当金	△542	△550
流動資産合計	3,893,368	3,438,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,091,378	2,134,988
減価償却累計額	△1,281,713	△1,313,227
建物及び構築物（純額）	809,664	821,760
機械装置及び運搬具	449,677	448,356
減価償却累計額	△380,682	△389,297
機械装置及び運搬具（純額）	68,995	59,059
工具、器具及び備品	335,942	345,248
減価償却累計額	△255,039	△269,316
工具、器具及び備品（純額）	80,903	75,932
土地	1,172,592	1,206,132
リース資産	—	10,620
減価償却累計額	—	△1,062
リース資産（純額）	—	9,558
有形固定資産合計	2,132,156	2,172,442
無形固定資産		
投資その他の資産	34,180	27,060
投資有価証券	2,054,077	2,388,301
差入保証金	264,458	259,436
退職積立資産	1,001,831	1,033,148
保険積立資産	316,330	314,257
ゴルフ会員権	143,494	153,908
繰延税金資産	160,471	149,730
長期預金	150,000	150,000
その他	99,862	104,786
貸倒引当金	△26,985	△26,985
投資その他の資産合計	4,163,540	4,526,585
固定資産合計	6,329,877	6,726,088
資産合計	10,223,245	10,164,160

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	514,333	438,505
短期借入金	60,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	39,990	30,000
リース債務	—	2,124
未払費用	201,903	144,276
未払給与	778,502	756,335
未払法人税等	47,714	105,355
未払消費税等	96,429	101,491
賞与引当金	219,832	214,077
その他	174,837	77,947
流動負債合計	2,133,543	1,990,112
固定負債		
長期借入金	50,000	35,000
リース債務	—	7,434
預り保証金	29,763	24,767
退職給付引当金	295,469	285,359
役員退職慰労引当金	211,376	220,058
固定負債合計	586,609	572,618
負債合計	2,720,153	2,562,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,300	822,300
資本剰余金	878,137	878,137
利益剰余金	5,983,758	6,047,549
自己株式	△314,505	△314,524
株主資本合計	7,369,691	7,433,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,400	167,966
その他の包括利益累計額合計	133,400	167,966
純資産合計	7,503,091	7,601,429
負債純資産合計	10,223,245	10,164,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	8,332,572	9,075,020
売上原価	7,347,042	7,920,820
売上総利益	985,530	1,154,200
販売費及び一般管理費		
役員報酬	80,130	81,225
給料	386,760	391,150
賞与引当金繰入額	47,607	51,001
役員退職慰労引当金繰入額	9,013	9,695
賃借料	94,924	95,518
減価償却費	39,313	39,180
保険料	22,608	12,003
その他	310,764	320,096
販売費及び一般管理費合計	991,123	999,868
営業利益又は営業損失(△)	△5,592	154,331
営業外収益		
受取利息	4,198	14,293
受取配当金	16,769	20,870
受取手数料	18,932	7,691
受取保険金及び配当金	2,249	2,349
保険返戻金	6,803	46
持分法による投資利益	3,577	2,838
貸倒引当金戻入額	22	5
その他	1,138	1,624
営業外収益合計	53,691	49,717
営業外費用		
支払利息	2,134	1,209
有価証券運用損	5,950	—
支払手数料	5,263	5,277
雑損失	600	1,100
営業外費用合計	13,948	7,586
経常利益	34,150	196,462
特別利益		
固定資産売却益	13	—
投資有価証券売却益	—	13,881
特別利益合計	13	13,881
特別損失		
固定資産除売却損	19,383	4
投資有価証券評価損	—	719
投資有価証券償還損	17,844	—
ゴルフ会員権評価損	400	—
特別損失合計	37,628	724
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,464	209,620
法人税、住民税及び事業税	7,623	94,940
法人税等調整額	5,441	378
法人税等合計	13,064	95,319
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△16,529	114,300
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,529	114,300

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△16,529	114,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,754	34,565
その他の包括利益合計	△49,754	34,565
四半期包括利益	△66,284	148,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△66,284	148,866

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,464	209,620
減価償却費	65,472	64,429
持分法による投資損益(△は益)	△3,577	△2,838
ゴルフ会員権評価損	400	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,848	△5,755
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11,338	△10,110
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△10,677	8,682
売上債権の増減額(△は増加)	△2,022	63,375
仕入債務の増減額(△は減少)	△44,086	△75,828
有価証券運用損益(△は益)	5,950	—
支払利息	2,134	1,209
有形固定資産除売却損益(△は益)	19,383	4
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△13,881
投資有価証券評価損益(△は益)	—	719
投資有価証券償還損益(△は益)	17,844	—
退職積立資産の増減額(△は増加)	△31,317	△31,317
保険積立資産の増減額(△は増加)	130,164	2,073
受取利息及び受取配当金	△20,968	△35,163
その他	△28,151	△141,645
小計	80,871	33,581
利息及び配当金の受取額	32,626	42,749
利息の支払額	△2,134	△1,209
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△85,095	△37,738
その他の営業外損益の受取額又は支払額(△は支払)	20,368	8,177
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,636	45,560
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	500,000	—
有価証券の償還による収入	—	150,000
有形固定資産の取得による支出	△153,516	△113,296
有形固定資産の売却による収入	—	18,749
無形固定資産の取得による支出	△6,959	△2,660
投資有価証券の取得による支出	△188,146	△411,817
投資有価証券の売却による収入	5,323	91,039
投資有価証券の償還による収入	200,000	100,000
ゴルフ会員権の取得による支出	—	△10,414
その他	△5,425	△4,606
投資活動によるキャッシュ・フロー	351,275	△183,006

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	580,000	1,300,000
短期借入金の返済による支出	△514,000	△1,240,000
長期借入金の返済による支出	△54,960	△24,990
自己株式の取得による支出	—	△18
配当金の支払額	△50,474	△50,335
その他	△1,084	△1,062
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,519	△16,406
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	357,392	△153,852
現金及び現金同等物の期首残高	1,517,414	1,558,426
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,874,806	1,404,574

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業 務	不動産ソ リューション 業務		
売上高							
外部顧客への売上高	4,302,780	1,834,534	1,357,022	510,559	327,675	—	8,332,572
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,302,780	1,834,534	1,357,022	510,559	327,675	—	8,332,572
セグメント利益又は損失(△)	522,277	34,135	102,767	18,032	14,327	△697,132	△5,592

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△697,132千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業 務	不動産ソ リューション 業務		
売上高							
外部顧客への売上高	4,731,300	1,890,440	1,371,913	814,156	267,209	—	9,075,020
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,731,300	1,890,440	1,371,913	814,156	267,209	—	9,075,020
セグメント利益	607,938	70,371	107,687	37,800	12,015	△681,481	154,331

(注) 1. セグメント利益の調整額△681,481千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。